

新環境で頑張る2年目のOBたち

国立競技場に15年ぶりくらいに行ってきた。
しばらく県大会と重なったため行けなかった関東インカレ。

幸い晴天、風は涼風。絶好の好天だ。

一部校100mセミファイナルの顔ぶれ

さすがにインカレ一部校にはすごいメンバーが集まるものだな・・・とあらためて驚いた。
インターハイ、国体の入賞選手が、シニアになってさらに競技に磨きをかけるのだから当然だ。関東インカレ・セミファイナルにはここ数年のインターハイファイナリストがごっそり集合した。そうそうたる顔ぶれ。オールジャパンに届く位置にいる選手たちだ。当然だがインターハイ決勝よりレベルは高い。そしてより僅差「高密度」だ。

セミファイナル1組は今期好調の齋藤 仁志選手(筑波)が、やはり抜け出ていた。
10秒35をマーク。

2004年インターハイ、国体を制し、ジャパンチームの400mR候補だった佐分 慎弥選手(日体)がまさかの落選。昨年的高校短距離二冠、小林選手(法大)も落選。やはり厳しい。



左から 木村選手(2005日本ジュニア優勝、千葉インターハイ準優勝)、
後藤(2006日本ジュニア優勝、大阪インターハイ優勝、国体準優勝)
江里口選手(2006国体優勝)



後藤は2組のスタート。一回フライングがあり、二度目は誰であっても失格。

前半の30mが優れている後藤には不運だった。

トップは4年生の藤光謙司選手(日大)。それでも後藤はセカンドグループにつけ4着狙い。

(写真上)4位5位は肉眼では識別できない。オーロラビジョンで動画確認した。・・・0.02秒差で決勝を逃した。残念だが、ベストに近い状態だと思う。江里口選手を抑え、高校国体から続く同級生対決を今回は後藤が上位した。

2005千葉インターハイで3位(このとき後藤は4位)の伊丸岡 亮太選手も落選。やはり関東とはいえ事実上、シニア学生最強を決める8人の壁はきわめて狭い。

しかし2年生ながら0.02秒差で、あと一人でファイナルへの位置に来た。順調であり、心配した脚の故障も大丈夫なようだ。

オーロラビジョンで着順を確認する後藤。
後ろは藤光選手(浦和市立～日大)。
埼玉国体のとき少年Aで準優勝、インターハイも準優勝。後藤とは400mRで埼玉チームを組んだ事もある。



決勝(写真下)は後半型の藤光選手が追ったが、斉藤選手が逃げ切った。風は残念ながらマイナス2m近い。五輪標準を狙った上位選手には残念だった。

決勝を見て感じたのは、やはり上級生が強い。身体がシニアになって筋骨太く、安定している印象があった。20歳になったばかりの後藤はまだまだこれから。4年生になるくらいからシニアへの走りを極めていけばよいのではないだろうか。2年生(進学後たった1年間)にして早々に体調も新環境に馴染んできたようだ。後はケガをしないでほしいと切に願う。



田中も好調

二部大学100m予選でいきなり10秒58の成蹊大学記録を打ち立てた田中は、脚がよく動いていた。セミファイナルも余裕の通過を果たした。風も+1.4mで10秒67とトップ通過。「ああ、これは勝つな…」と思った。



迎えた決勝ではフライングが一回。
……残念だが、これで田中のダッシュも慎重になり10秒4
9の大会記録更新も厳しくなった。

再スタート後も田中は終始リラックス。

堂々と二部100mを制した。

風は常に向きを変え、このときは向かい風に転じていた。
大会記録更新はならなかったが、見事に優勝を飾ったの
だ。

風は気まぐれに回り続け、10分後の女子100mでは追い
風2・5m、さらに10分後の一部校100mは向かい風1・8m
という具合だ。

フライングなしで追い風……できればそうありがたいが、仕方
ない。今後、田中には連覇という目標が生まれる。

記録はまだまだチャンスがある。
後藤、田中はまだ2年生なのだから。

総評

もはや親心の観戦も、ほっとした一日だった。

二人とも好調だし、ケガもなかった。

後藤はシニアの日本チャンピオンクラスと互角に戦い、ファイナルまであと一人まで迫った。

田中は昨年、大学自体がインフルエンザ騒ぎで出場できなかった悔しさを晴らした。事実上、イン
カレは初戦なのだから。

私は彼らを写真に収めてもう4年目になる。



これくらい見ていると、フォームの成長や固有のクセ、表情がはっきりと刻まれている。
「甥」の成長をカメラに記録している気分だ。

ただ、強くなくてもいい。東部や、県や、あるいはローカル大会でもいいから、頑張っている後輩たちがいるのなら写真に残してあげたい。
どんな大会だって、頑張っている後輩の走りは、私の楽しみの基なのだから。

おまけ・・・日本代表を狙う選手も活躍した。そしてこういった大試合で活躍するなんて、春高OBも頑張っているな・・・と感じた5月の国立競技場であった。

